

コアジサシの営巣地をリニューアルしました。

利根川左岸3.0k付近(茨城県神栖市の銚子大橋上流側)のコアジサシの人工営巣地(平成22年7月整備)の雑草除去工事を行いました。

コアジサシはカモメ科の渡り鳥で絶滅危惧種に指定されています。日本には夏鳥として渡来し、河川等の砂礫地に営巣します。

平成29年度には34巣の営巣が確認出来ましたが、平成30年度はヨシ等の繁茂により8巣と減少してしまいました。その対策として、現在の表土を撤去し、植物の種子が少ない利根川の浚渫土を敷き均しました。

今後も適切な営巣が行われるよう地元関係者等と協力して注視してまいります。



対策工事を実施

